

100%再生可能エネルギー利用を目指して

GPNは、東日本大震災とこれに伴う福島第一原子力発電所事故の発生以降、電源情報に注目し、電力のグリーン購入の促進に取り組んでいます。前号(GPN News 第104号)の巻頭特集「再生可能エネルギーの利用促進に向けて」では、再生可能エネルギーの導入や利用をめぐる動向を紹介しました。その後、4月には株式会社リコーから「国際的なイニシアチブであるRE100に日本企業として初めて参加し、2050年までに事業に必要な電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる」ことが発表されました。

再生可能エネルギーの利用拡大に向けてさまざまな取り組みが進む中、今号では100%再生可能エネルギー利用を目指す都市・地域に注目し、イクレイ持続可能性をめざす自治体協議会の取り組みをご紹介します。

「100%再生可能エネルギーを目指す都市・地域ネットワーク」の拡大

～イクレイ 持続可能性をめざす自治体協議会の取り組み～



再生可能エネルギーに注目が集まる中で、パリ協定を受け、世界各地の都市・地域で脱炭素社会を目指す動きが本格化しています。イクレイ持続可能性をめざす自治体協議会では、さまざまな形で、脱炭素社会の実現に向けた自治体の取り組みを後押ししています。その一つが「100%再生可能エネルギーを目指す都市・地域ネットワーク(100% Renewable Energy Cities & Regions Network)」です。

●「100%再生可能エネルギーを目指す都市・地域ネットワーク」について

「100%再生可能エネルギーを目指す都市・地域ネットワーク」は、カナダ・バンクーバー市長の先導により、2015年に発足しました。同ネットワーク(以下、「100%RE都市・地域ネットワーク」)は、100%自然エネルギーの実現を提唱する世界初の取り組みである「100%自然エネルギー世界キャンペーン(Global 100% Renewable Energy Campaign)」の活動の一つとして立ち上げられました。100%再生可能エネルギーへの転換を牽引する自治体が集まり、世界的規模で先進都市や専門家によるネットワークの構築や、交流を行っています。イクレイは、同ネットワークの事務局として加盟自治体の活動をサポートしています。

100%RE都市・地域ネットワークには現在、11都市が正式に加盟しています。そのほか、40都市がネットワークの趣旨

に賛同し、100%REの政策目標を掲げています。これらの自治体の100%REへの実施状況はさまざまで、加盟自治体は①リーダー都市、②将来のリーダー都市、③ラーニング都市として参加しています。特にリーダー都市は、既に100%REの目標を設定済みで、目標達成に向けて進捗している自治体が含まれます(図1)。

●リーダー都市:カナダ・バンクーバー市

なかでも、リーダー都市としてネットワークを牽引しているカナダ・バンクーバー市は、再生可能エネルギーの普及に向けて、先進的な取り組みを進めています。

環境活動家でもあるグレゴール・ロバートソン市長のもと、バンクーバー市は、市の基本構想として、「世界で最もグリーンな都市」、「再生可能エネルギー100%都市」を掲げ



図1 野心的な都市・地域のエネルギー目標

ています。具体的な目標として、2050年までに市内のエネルギー消費を100%再生可能エネルギーでまかなうことを目指しています。この目標は、2015年3月のバンクーバー市議会において全会一致で採択されており、強力な政治的コミットメントにより、再生可能エネルギーに関する取り組みを推進しています。

また、基本構想の準備から計画策定まで市民との対話を繰り返し、徹底した参加型の意思決定を実施しています。市民参加型の意思決定を推進してきたロバートソン市長は、「政策目標はシンプルがよい。だから100%再生可能エネルギー」と謳っています(図2)。



図2 (左)カナダ・バンクーバー市、(右) COP21 都市と地域パビリオンにて、ロバートソン市長 (©ICLEI e.V. 2015)

●加盟メリット・加盟方法

加盟自治体は、100% RE都市・地域ネットワークを通じてさまざまなベネフィットを得ながら、他の都市・地域と連携し、100%REの実現に向けて取り組んでいます。

【ネットワークへの加盟メリット】

- ・世界をリードする他の自治体とのネットワークづくり、相互学習、協力の機会
- ・テーマ別のガイダンス、ワークショップ、サポート
- ・再生可能エネルギーやエネルギー効率の専門家へのアクセス
- ・ローカル・ソリューションや企業・産業を世界的にプロモーションする機会
- ・地域の取り組みの世界的な認知度向上
- ・先進的なリーダーの世界的な可視化とプロフィール化
- ・国、地域、市町村レベルでの100%REに関連する取り組みの経験や学びの共有
- ・最新の調査結果や報告への迅速なアクセス

【ネットワークへの加盟方法】

ネットワークへの加盟には、①申込書の提出と、②イクレイが運営する自治体のための気候変動対策プラットフォーム「カーボン気候レジストリ」への登録が求められます。ご関心がある自治体は、イクレイ日本までお気軽にお問い合わせください。

●今後の展望

野心的な都市がつながり、自分たちの実践やアイデアを共有することで互いに高め合う、という都市や地域の取り組みが広がっています。今後も、再生可能エネルギーへ

の転換において、先進的な自治体による活躍が期待されており、イクレイでは100%RE都市・地域ネットワークを通じて、加盟自治体による取り組みを国際会議などのさまざまな場で、広く周知していく予定です。

- ・2017年9月：地域再生可能エネルギー国際会議(仮称)(Local Renewables Conference 2017 in Nagano)(於：長野市)
- ・2017年11月：国連気候変動枠組条約第23回締約国会議(COP23)(於：ドイツ・ボン) 11月12日：「首長による気候サミット」

■イクレイについて

「イクレイ(ICLEI)ー持続可能性をめざす自治体協議会」は、持続可能な社会の実現を目指す1,500以上のさまざまな規模の自治体で構成された国際ネットワークです。地球規模の持続可能性を確実なものとするために、自治体による地域の取り組み(ローカルアクション)の積み重ねを支援し、世界的な運動を拡大することを目指しています。イクレイ日本はイクレイの日本事務所として、国内の会員自治体とイクレイの国際ネットワークとをつなぐ役割を担っています。

【参考】

100%再生可能エネルギーを目指す都市・地域ネットワーク www.iclei.org/lowcarboncity/100re
イクレイー持続可能性をめざす自治体協議会(世界事務局) <http://www.iclei.org/>
(日本事務所) <http://japan.iclei.org/>

(一般社団法人 イクレイ日本・吉川真珠美)